

■ 令和6年度 森林環境譲与税 充当事業内容

事業名	実施内容	決算額（千円）	
		森林環境譲与税	その他財源
新保健施設等複合施設建設事業	新保健施設等複合施設の建築工事、備品等における 木材に活用	3,381,029	<b>30,510</b> 3,350,519

- 墨田区では、木材利用・普及啓発の推進を図るため、森林環境譲与税を活用し、公共施設整備における木材利用や木材製品の導入を進めしていく。
- 保健センターの老朽化に伴い、保健・教育・子育て部署が複合した、すみだ保健子育て総合センター（新保健施設等複合施設）を、令和6年1月5日に開設。建築工事に際し、一部の居室の内装材（床・建具等）及び家具について、木質化を行っている。

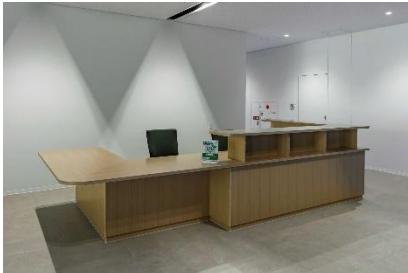
## □ 事業内容

### 新保健施設等複合施設建設事業

- 令和4年3月から令和6年6月まで建築工事
- 令和6年11月5日に開館
- 総合案内や職員休憩用の和室、子育て支援事業の一環で使用する家族療法室の床の木質化を行った。

【令和6年度事業費】3,381,877千円（うち譲与税30,510千円）

【実績】木材使用量 0.35m<sup>3</sup>



(1階 総合案内)



(2階 和室)



(4階 家族療法室)

## □ 取組の背景

- 木質化を通じて、施設利用者への心理的効果に寄与するとともに、地球環境への配慮、環境負担の低減を図る。
- 施設利用者が落ち着いて過ごせる場所として整備するにあたり、木材の与える温かく、落ち着いた印象が施設の目指すイメージに合致していた。

## □ 工夫・留意した点

- 総合案内や休憩室、家族療法室等、施設のメインエントランスの場や主に座ってくつろぐ場に木質化を図り、落ち着いて過ごせる環境づくりに配慮した。

## □ 取組の効果

- 木材の温もりを実感する機会・空間を提供し、利用する区民および職員が過ごしやすい環境の構築に寄与した。

## ◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：30,510千円	②私有林人工林面積（※1）：0ha
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：272,085人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より